

20周年 けやき コミュニティ ニュース

No. 94号 (通算 118号) 2009年5月30日発行

* 第25回 住民総会が4月18日(土)に開催されました *

けやきコミュニティセンターのホールにて13時30分から住民総会が開催されました。

今年は住民総会の前に北町5丁目在住の高橋健一さんに「このまちを知ろう」というタイトルでお話をして頂きました。

2008年度活動報告・会計報告・監査報告に続いて2009年度活動方針・予算案について説明があり承認されました。そして今年度の運営委員・監査委員が決まりました。出席していた地域の方々から様々なご意見や感想などが活発に出て充実した住民総会になりました。その後第1回運営委員会が行われ今年度のけやきコミセンがスタートしました。

ご挨拶

代表 島森 和子

平成21年度は60名の運営委員で、けやきコミュニティ協議会がスタートしました。今年は、開館20周年を迎えます。これも地域の皆様の暖かい見守りと励ましによって、支えられているものだと思います。

今年は、運営委員一同、開館当時を振り替えながら、改めて夢と希望を持ち、運営に力を入れているところです。一年を通してイベント、行事等にも工夫を重ねて行きます。皆様でお出掛け頂き、楽しんでいただければと思います。



けやきニュース94号紙面から

- 2面 20周年の事業予定
- 3面 けやきまつり・ミニタウン
- 4面 まちづくり局紹介
- 5面 コラム「ドラちゃんの眼」・学生から見たけやき
- 6面 けやきコミセン物語(1)

2009年度 活動方針

“けやき”のみどり豊かなこのまちを新しいふるさととして愛しみみんなで楽しくまちづくりをすすめます。〈けやき憲章〉

- ☆ 赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが立ち寄りたくなるまちづくりの拠点としてのセンターを目指します。
- ☆ 開館20年の節目の年を迎え、けやきのよさを継承しながら、夢のある充実したまちづくりを目指し諸活動をすすめます。

「新しい時代を拓くコミュニティ」

公園の緑に囲まれたレンガのコミュニティセンターに様々な方が集いにぎやかな日々。
けやきコミセンは今年20周年を迎えました。たくさんの笑顔と出会い、感謝です。

周年事業の予定

- * 式典祝賀会 12月6日(日) 11時から
- * 記念コンサート 10月17日(土) 市民文化会館小ホールにて
「サーティワンの おしゃべり音楽館」
ミニコンサートも企画中です
- * 防災の集まり 6月22日(日) 14時から 緑町コミセンにて開催いたします。ご参加下さい。
大野田福祉の会・緑町コミセン・けやきコミセンで共催し、防災組織を立ち上げ
安心安全な町となるよう準備会をしています。
- * 改築プロジェクト もっと素敵なコミセンになるには……？
将来設計の夢を語り合い検討しています。
- * けやきニュース 二十歳のけやきへ贈る「ことば」を募集中。随時掲載していきます。
また年表からけやきの未来を模索する特集を組みます。
- * 学舎、しゃべり場チーム いままででのやり方にとらわれず、新しいコミュニティのあり方を話し合っていこうと、コラボで「みどりのまなびや」を企画。6月6日(土) 14時から第1弾「学生たちはけやきで何をみつけたのか」というテーマで話し合います。
詳細はチラシやニュース、市報などで広報いたします。

「はたちのけやきに贈ることば」

無から有を産み出そうとして地域の皆で思いを出し合い、雪のなかでけやきまつりの前身のおまつりなどをしながらけやきの建設に関わりました。実現できる夢に向ってみんなの心が一つになっていました。身近な地域の人の中で、仲良しを感じて生きてゆきたいです。 日比野 小夜子

けやきに来ると何かほっとします。
ここの活動に関わっている方々の熱意行動が伝わってきます。何か行事があると忙しくても立ち寄りたくなります。

けやきまつり会場にて

地域の人との和がもっともっと広がっていきますように願っています。
郡司孝子

平成21年度 運営委員紹介

代表・・・島森和子 寺島芙美子 富秀子 出井佳子 中澤幸子
浅野里加 芦田敏武 足立春江 新井真紀 新井裕介 安藤頌子 石井清子 石井威 石川博一
市原忠光 宇田川みち子 遠藤敦 太田桂輔 大竹正輝 風間佑蔵 加藤光樹 金子ゆたかこ
川崎悦司 菅野耕一 栗村真里 郡司高直 小河内順子 清水範男 杉本晃子 関口礼子
高石優 高田昭彦 高橋優子 高橋良江 田島龍二 田中千恵子 谷口朝子 田村武夫 千綿澄子
土田芳枝 長澤鏡子 長澤文哉 長瀬道子 西上俊亮 長谷川芳子 深野譲治 増永基文
水谷加奈子 村井智子 森谷君子 山井恵子 山本清子 吉川裕子 吉松杉子 若園文雄
渡辺純夫 渡部誠子 渡部正子 会計監査 佐藤清佳 梅田彰 (以上60名)

***配布やイベント等の協力委員として124名ご登録頂きました。

けやきまちづくり局



からだほぐしお食事の会

6/19(金) 第75回からだほぐしとお食事の会 開催。今回は「絵葉書を作ろう」
6/1(月)より申し込み受付

けやきあそび隊

“大人も子どもも一緒に楽しもう！”
をモットーに1年を通して様々な楽しい
イベントを開催しています。

ただいまスタッフ大募集中です！

風と歩こう

《四季の自然を訪ね、楽しくウォーキング！》

毎月第2火曜日9時～中央公園

毎月第4火曜日10時～けやきコミセン

《地域を守るナイトウォーク》

毎月第1・3火曜日20時～けやきコミセン

いつでもどなたでも参加できます。

よみきかせ紙ふうせん

毎月第4土曜日11時～12時まで、
絵本の読み聞かせや紙しばい、折り紙あそび
をしています。

ばそこん倶楽部

今回は6月15日(月)13時30分～です。
内容は「エクセルを使った報告書」
問い合わせは窓口へ

けやき茶社

毎月第3土曜日2時～4時

1階コミュニティルームにて開店。
男たちのカフェでサイフォンコーヒー&
手作りスイーツが楽しめます。

けやきまちづくり局は…“いいまちつくろう！”
という思いのもとに、この指とまれ！で結成さ
れたチームの集まりです。世代を超えた人たち
の参加で地域の方々も含め人の輪がどんどん広
がり、“人と人とのつながり”を感じられる素敵
な場となっています。どうぞご参加ください。

けやき囲碁のつどい

毎月第2日曜日13時～開催しています。
どうぞご参加ください。

あっとおどろくエコクラブ

子どもたちと一緒に地球の自然を大切
にする事やエコについて考えます！

けやきガーデナーズ

毎週月曜日の午前中に花壇のお手入れ、
種まきを行っています。花づくり
を通してコミュニティの広がりを願っ
ています。

エト研究会

地域通貨“エト”は、ありがたいの感謝
のしるしです。エト券がけやきからあな
たへ、あなたから次の感謝に手渡されて
いく事を願って発行しています。

まちの中の美術館

6月24日(水)

「みなとみらい Walk&View」
横浜みなとみらいエリアの“旧くて新
しい・今現役で活躍している建築物”を
歩いて見て、ワンコインバス「あかい
くつ」に乗って横浜中華街へ・・・
詳細、申し込みは窓口へ



ドラちゃんの眼

成蹊大の学生たちと武蔵野市を研究しているドラちゃんが、今、このまちで起っていることを皆さんにお伝えします。

【「エト」はすごいことをやろうとしているのかも？（1）】

「けやきまつり」に、地域のみなさんが古本・瀬戸物類をいっぱい持ってきてくださって感謝です。その感謝、「ありがとう」の気持ちでエト〇枚！（〇には「ありがとう」の大きさを表わす主観的な数字を入れてください。）

エトは「円」とは交換できません。交換できれば簡単です。原資に一定の円を確保し、その分だけエトを発行していけばいいのですから。しかしエトは、モノやサービスの移動に込められた「ありがとう」の気持ちを表わしたものです。これは「排出権」と同じです。つまり実体の無いものに価値を付加しているのです。排出権が炭酸ガスの削減に同意した国々の中でのみ意味を持つように、エトは「ありがとう」で成り立ったコミュニティの中でしか意味を持ちません。そのコミュニティに属する人と人を「ありがとう」でつなぎ、相互交流を深めます。「けやき」は言わば「ありがとうのコミュニティ」です。だからエトは「けやき」から生まれたのですが、「けやき」に留まるものではありません。「ありがとう」はもっと広がる可能性をもっています。ではこれ以後の説明は次回に・・・つづく

学生から見た けやきのまちづくり

このコーナーでは、けやきで活動する学生達が、けやきで見つけた様々な発見について、皆さんに発信していきます。

けやきにお世話になるようになってもう1年が経過しました。僕は、住んでいるところが埼玉なので、なかなか地元の方々のように活動に参加することはできませんが、その代わり気長に、けやきに関わっていただけらなと思っています。

上智大学 加藤光樹

【ユニークってどういうこと？—「けやき」のユニークさについて—】

「けやき」に関する説明で良く言われる「ユニークなコミセン」という言葉ですが、辞書で調べてみると、ユニークとは「独特」であり、「他と違う」ものであることを示す単語のようです。では、「けやき」はどう違うのでしょうか。

比較対象となるほかの何かとは、「けやき」と比べられるような、似たようなものでなければならぬので、人々が助け合う地域の場という意味で、伝統的な「村社会」や、近代的な「町内会」などを、「けやき」の比較対象として想定して考えました。

このような「村社会」や「町内会」と「けやき」はどのように違うのでしょうか。僕は、その違いについて、協力関係のありかたが違うと考えています。これは、かなり大雑把な捉え方ですが、基本的に村社会は「掟」や「地元の名士」が強かった社会です。また、町内会も「ルール」や「長のつく役職」が強いという意味で、似たような側面をもっています。従ってそこでの協力関係は、「掟」や「権限」によって、組織づくられ、行なわれる協力関係です。これに対して「けやき」は「えらいひとをつくらない」や「ルールをつくらない」などの特徴を持っている集団です。そしてそこでの協力関係は、ルールや権限に縛られない自由な協力関係です。また、自由な協力は、個人個人が活躍出来る場を提供します。つまり、このような自由な在り方こそが、今のけやきの最大のユニークさであると、僕は考えています。

けやきコミセン物語 (1)

けやきコミセンには、毎年たくさんの見学者が訪れます。また学生たちや子どもたちの活動への参加も多く、幅広い世代間交流や「地域を発見」する場にもなっています。「ユニークなコミセン」をつくらうと願ってきたけやきコミセンですが、そのユニークさは建物だけでなく、管理・運営・活動の全般に現れて、今のところの評判はよいようです。今年にけやきコミュニティセンター開館20周年、「けやき」の「ユニークさ」「けやきらしさ」について、その源を追ってみましょう。



建設までの時期 (それはクリーンセンター建設用地選定から始まった)

———開放的で誰でもが気軽に使えるコミセンがほしい!———

「クリーンセンター(ごみ焼却場)用地を、吉祥寺北町の市営プール地に選定する」・・・1978年12月22日の市議会本会議で当時の市長報告がなされ、翌日の新聞紙上で私たちは「一夜明けたら地元住民に」なっていたのでした。当初反応はさまざまでしたが、プール地周辺の5丁目を中心にしたこの地域でまとまっていったのが「用地選定を市民参加でやり直せ」という意見に集約された大きな運動になりました。

市議会・行政に働きかけ、地域にはニュースでお知らせし、昼に夜に相談したり、全市に車で運んではチラシを配って歩いたり・・・人のつながりや、運動の原型はこの時期に作られました。結果として運動は全市の世論を変えて、クリーンセンター建設特別委員会が設置され、その提言を受けて行政が、用地選定をいたしました。ごみの焼却施設のような、一般的には歓迎されない施設の用地選定に、選ばれた四候補地の住民が参加する委員会が、提言をまとめられるはずがない・・・というそのころの常識を超えて、委員会がまとめた提言を受けた市長が用地選定をいたしました。住民の理にかなった運動が、行政決定を覆したのです。こういう数年の経過の中で、まちの雰囲気が変わりました。

- ①この運動を通じて、たくさんの新しい人間関係ができていきました。
- ②多くの人が「自分のまち」を意識するようになり、この地域のことを知っていきました。
- ③「参加」し「行動」すれば「不可能に思えたことも変えられる」という運動の体験を共有しました。
- ④たくさんの人が、「ごみ問題」を知り勉強して「ごみ問題」に目覚めていきました。

(この地域の集団回収は活動資金を得るためにはじめて、今でも取り組みは市内随一です。)

会合は個人のお宅や、都営住宅の集会所、四中のPTA室などを借りていましたが、「この地域にも気軽に集まれるコミセンがほしい」・・・となり、1982年5月に中央北コミュニティ準備会が発足しました。

「今までのようなコミセンならいらない」「税金の無駄遣いだ」・・・どんなコミセンを望みますか?のアンケートにこんな返事が返ってきました。ならば「ユニークな」「こんななら税金も無駄ではない」コミセンをつくらうと話し合い、「ユニークなコミセンの、ユニークってなあに?」とニュースでたずねたりしました。これが始まりでしたが、開設までに7年もかかるなどとはそのころは露思いませんでした。(Y. A)

けやきコミュニティ協議会

武蔵野市吉祥寺北町5-6-19

TEL 0422-54-8719

<http://www1.parkcity.ne.jp/keyaki-c/>

開館時間 9:30~21:30 水曜休館

☆ 編集後記 ☆

今年20周年を迎えるけやきコミセンの栄えある「けやきニュース」の担当になりました、年齢も趣味や好みも様々な6人です。そんな私たちが、けやきに惹かれ運営委員になり活動していくなかでの貴重な経験を、今年度の「けやきニュース」に表現していけたらと思います。